

学会便り 第133回秋期大会報告

第23回「女性会員の会」報告

The 23th women's meeting of the Japan Institute of Light Metals

関 史江*

Fumie SEKI*

第133回秋期大会中、宇都宮大学陽東キャンパスで、11月4日(土)12:00~14:30入退室自由の、第23回女性会員の会を開催しました。参加者は合計26名(女性22名、男性4名)、お弁当と地域の銘菓をいただきながら楽しく懇談しました。宇都宮銘菓と差入れお菓子：宮のかりまん・うさぎやチャット・レモン牛乳クランチチョコレート(世話人)、きぬの清流(世話人+寺田佳織さん)、源氏パイ(千野靖正先生)、和ラスク(中村嘉榮先生)、金しゃち(上田 薫さん)、キャラメル(大島智子さん)。大会と同時に、懇親会時間帯も含め学会託児室を設置しましたが、ご利用はありませんでした。

**【話題提供：第9回軽金属女性未来賞受賞者
神戸大学 池尾直子先生】**

ご専門のマグネシウム研究のご紹介と、最後にダイバーシティに対する池尾先生の考えをうかがいました。本来のダイバーシティ(多様性)を考えると、女性活躍をうたい、制度として女性枠を作るのではなく、女性も男性もお互いの多様性を受け入れ尊重し合い、自然に行動できる状態が好ましいので、将来、特別に「女性」と名付けない時代が来るのを願っていると話されました。この話に頷き、実現したら、すべての人が、生きやすくなるな~と感じました。

【自己紹介：氏名・所属、今の仕事(研究)のモチベーション、今の職場(仕事)に決めたポイント】

昨年秋に、一番欲しいものは「時間」と多数の方が答えました。それを受け、忙しい日々の中で、研究や教育を行う動機や意欲と、仕事を決めた重要点についてうかがいました。

お金を得るため。アルミやマグネ研究の資金調達のため。生活のため。家族と一緒に過ごす生活を作るため。

知的好奇心を刺激されるから。女性会員の会に参加すること。元気な仲間から刺激を受け、自分も頑張る気持ちになれる。

研究は楽しい。研究は興味深く限りがないから。光顕組織があまりに美しかったから。飛行機が壊れる理由を追及したい。今わからないことが、新しく理解できるから等々。

研究・教育・技術等、仕事のやり甲斐に対して、率直で前向きな考えが次々に出されました。

最後に、大会実行委員長の高山善匡先生始め大会実行委員会のご配慮と、力強い応援会員の皆様へ改めて感謝いたします。

世話人：関 史江、小原美良、上田 薫、大島智子



話題提供：池尾直子先生(撮影：茂泉 健様)



女性会員の会・中締め(撮影 千野靖正先生)



第133回軽金属学会懇親会場

軽金属学会「女性会員の会」の歴史は以下をご覧ください。
<http://www.jilm.or.jp/society/?mode=content&pid=53>

*元 東京大学、現 ATEX_FUMI技術アドバイザー(東京都国立市)
受付日：平成29年11月20日